



みつわ通信

2017年

12月号

担当 加藤

毎日寒いですね

朝晩の冷え込みが一層厳しく雪も降りはじめました。現場での作業本当にお疲れ様です。そして変わらぬご注文ありがとうございます。

今回は流動化コンクリートについてのお話をしたいと思います。



流動化コンクリートとは

流動化コンクリートとはあらかじめ練り混ぜられたコンクリート(ベースコンクリート)に流動化剤を添加し、攪拌して流動性を増大させたコンクリートです。

単位セメント量、単位水量を増やすことなく流動性を増大させ、コンクリートの施工性、品質を向上させます。流動化による強度の低下もほとんどなく、ブリーディング、乾燥収縮の低減が期待できます。

流動化前、流動化後

先月、スランプ12cmのベースコンクリートに流動化剤を添加し、6cm流動化させ18cmでの施工を行いました。お客様からも作業性が大変良いとお喜びの声をいただきました。



流動化前(スランプ12cm)



流動化後(スランプ18cm)

(試験室でのスランプ写真です)

導入時は**当社試験係が流動化剤添加量の計算、投入作業**(ベースコンクリートの状態を確認しながら品質低下の無いように実施)を行いますので、お気軽にご検討ください。ご注文お待ちしております。

お気軽にお電話ください♡

コンクリートに関することなら小さなことでも構いません。

Tel 023-686-6032 まで、お電話待ってます。

Facebookやっています!! (・v・)イネ!! お願いします!!

ホームページも毎日ブログ更新中!! 色んな情報がいっぱい!!

<https://www.facebook.com/mitsuwanamakon/>

<http://necon.co.jp/>

